

池田功先生（明治大学大学院教養デザイン研究科教授、国際啄木学会会長、詩人・歌人）略歴

★プロフィール

1957年 新潟県上越市生まれ

明治大学文学部卒、同大学院文学研究科日本文学専攻博士前期課程修了、同博士後期課程単位取得退学。その後、文学博士号取得。

1988年～90年 韓国・東国大学招聘特別専任講師

1992年 明治大学専任講師、その後助教授、教授

2003年～05年 ドイツ・フライブルク大学及びボン大学客員研究員

2018年 インド・デリー大学大学院客員教授

～現在にいたる活動～

- ・国際啄木学会会長、日本現代詩人会会員、
- 「詩と思想」（土曜美術社出版販売）編集参与、
- 「りとむ」短歌会所属

★単著（一部分）

- 『石川啄木 国際性への視座』おうふう、2006
- 『石川啄木 その散文と思想』世界思想社、2008
- 『新版 こころの病の文化史』おうふう、2008
- 『啄木日記を読む』新日本出版社、2011
- 『啄木 新しき明日の考察』新日本出版社、2012
- 『石川啄木入門』桜出版、2014
- 『啄木の手紙を読む』新日本出版社、2016

<詩歌集>

- ・詩集『我が一九八八年—韓国・慶州にて—』韓国・聖学社、1989
- ・詩集『新しき明日へ』土曜美術社出版販売、2023
- ・歌集『ゲルマンの道』角川書店、2023

＊講演『石川啄木再入門』

～その作品の魅力と秋田県との関わり～

多くの皆さんは、中学・高校の国語の教科書で啄木や啄木短歌に接したのではないのでしょうか。しかし、それは啄木や啄木短歌の一面でしかありません。講演では国内や国外での啄木の受容や、現代歌謡曲への影響、そして『一握の砂』と『悲しき玩具』の二冊の歌集の魅力等を解説したいと思います。また、啄木のお姉さんは秋田県の田村 叶に嫁ぎました。さらに啄木自身も秋田県鹿角を旅行し、錦木伝説に強い関心を持ちそれをテーマにした詩歌を残しています。それも解説したいと思います。



啄木盛岡講演会



金田一京助と啄木(M41.10.4) 「写真提供・石川啄木記念館」



婚約時代の啄木と節子(M37.5) 「写真提供・石川啄木記念館」



市民おもしろ塾の文化後援

『第8回能代おもしろ映画祭り』次月開催

世界の黒澤明の名画3本、能代出身の愛郷映画人の作品を特別価格にて堂々の上映！ 乞うご期待！！

問合せ：080-4131-3634

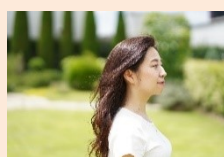
場所：能代山本広域交流センター（秋田県能代市宇海詠坂 3-2）



【1日目】11月30日(土)

前売り：終日800円

午前 笠井渚プロデューサー作品 『秋田県能代市に生まれて』



午後 加藤正人講演会 『私と映画』

加藤正人脚本作品 『破戒』(2022年制作)

※両日とも高校生以下無料!



【2日目】12月1日(日)

入場料：1本500円、2本以上1,000円

午前 『用心棒』  
午後 『生きる』、『天国と地獄』  
加藤正人講演会 『黒澤明作品の魅力』



○協賛上映：12月1日(日)能代市立図書館 無料

午前 児童向けクリスマス作品3編  
午後 洋画『素晴らしき哉、人生!』

